

生物・化学テロ災害時における消防機関が行う活動マニュアル

主な追加・修正箇所 イメージ(修正再掲)

1 追加・修正の主な内容

- (1) N災害及びテロ以外のBC災害への対応についての内容を追加
- (2) 距離、時間等の具体的数値の追加
- (3) 災害の態様別の部隊編成表を追加

2 主な追加修正箇所

目次	主な追加・修正事項 (灰色部は新規追加箇所)
◎はじめに	
本マニュアルの目的等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ マニュアル使用対象者 → 消防職員に限定 ○ 対象とする災害形態の範囲 → テロ以外のNBC災害を検討対象に追加 ○ 対象とする消防活動 → 発生～受信～出動～現場到着～検知・救出・除染～救急搬送までの一連の消防活動(この間の他機関との連携を含む。)
第1編 化学テロ災害	
第1章 化学テロ	
第2章 サリン事件等を契機とするこれまでの対応	○ 参照すべき最近の事案はあるか。
第3章 化学剤	○ 追加すべき化学剤はあるか。
化学剤の検知	※○ 検知資機材及びその機能を追加
第4章 化学剤への防護	<ul style="list-style-type: none"> ① 「第2節 区域(ゾーニング)の考え方」に、代表的物質別の離隔数値等を、「緊急時応急措置指針(Emergency Response Guidebook)」等を参考に記述 ② ゾーン設定の考え方、設定要領(判断目安)を追加 ③ 「第3節 活動隊の防護措置及び活動範囲」に活動隊の装備、任務等を整理 → レベルA隊のうち検知器保有隊と非保有隊の任務を分割
第5章 消防本部の通信指令部署の体制	<ul style="list-style-type: none"> ① 当該消防本部のみでは対応困難な場合の応援要請(県内、緊援隊)に関する記述を追加 ② 「第2節 化学テロ災害に伴う部隊編成の考え方(例)」について、災害態様・規模別に標準的な部隊編成、資機材数を設定(※ 生物、原子力等の他の災害の種類でも同様の記述を追加)
第6章 化学テロ災害の消防活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 「第4節 出動から現場到着までの留意点」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易検知活動の内容見直し ② 「第5節 ホットゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風上から150m記述の確認 ・ 防護服の未保有隊の活動 ・ 初動の検知(γ線等は有)活動追加 ・ 陽圧式車両の使用法 ・ ロボットの使用方法 ・ 除染必要時間を除いた陽圧式防護衣の活動時間表示 ・ 可燃性ガス、γ線に即した活動の具体的記述 ・ 風向きとエリア設定の考え方整理 ・ ボンベ交換の方法追加 ③ 「第6節 ウォームゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次トリアージ場所、除染場の設置とエリア設定の関係整理 ・ トリアージ方法の確認 → トリアージ方法(START法など)との整合 ・ 1次トリアージ実施者の確認 → 1次トリアージ実施者は消防隊員が実施 ④ 「第7節 コールドゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報文例作成 ・ コールドゾーン内の在宅者も避難対象。 ⑤ 「第8節 救急隊の活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ トリアージタグの活用 ・ 救急隊の活動の整理 → 救急隊員の防毒マスク着用 ・ 解毒剤関連記述の修正 → 解毒剤保有医療機関の把握項目削除

第7章	再先着隊がレベルD隊であった場合の活動	○ 活動内容の確認 ・ 車内でのポンベの開放による陽圧レベル確認 ・ 異常を視認できるところまでの接近活動の整理
第8章	現場等における各関係機関との連携	○ 各関係機関との連携内容を精査 ・ 関係機関への連携・依頼事項を具体的に記述 ・ 医療機関の対応、要請内容の整理
第2編 生物テロ災害 <建物内で粉等の確認により119番通報等があった場合の対処>		
第1章	生物テロ	○ 保健所と消防の業務 ⇒ 原則的な業務割のみ記述
第2章	生物剤	○ 追加すべき生物剤はあるか。
生物剤の検知 ※○ 検知資機材及びその機能を追加		
第3章	生物剤への防護	○ 「レベル別活動隊の主な活動」中の活動隊の装備、任務等を整理 ・ レベルA隊のうち検知器保有隊と非保有隊の任務区分を分割 ※・ ポンベ交換の方法
第4章	消防指令室の体制	① 当該消防本部のみでは対応困難な場合の応援要請(県内、緊援隊)に関する記述を追加 ② 「第2節 化学テロ災害に伴う部隊編成の考え方(例)」について、災害態様・規模別に標準的な部隊編成、資機材数を設定 ③ 通報者への会話内容 ・ 「2m以上」の距離確認 ・ 「悪化軽減」の会話 ④ 連絡先の確認
第5章	生物テロ災害時の消防活動	① 「第2節 出動から現場到着までの留意点」 ・ 風上から50m記述の確認 ※・ 陽圧式車両の使用法 ※・ ロボットの使用法 ・ 除染必要時間を除いた陽圧式防護衣の活動時間表示 ・ 「悪化軽減」の情報提供(生物剤の種類にもよるが・・) ② 「第3節 ホットゾーンでの活動」 ・ 検体の採取に関する消防の役割確認 ③ 「第5節 コールドゾーンでの活動」 ・ 広報文例作成 ④ 「第7節 隔離中の急病人等」 ・ 医師の疫学調査終了前の搬送方法について確認 ・ 活動に携わった消防職員の隔離等措置確認 ・ 医師等の防護資機材の消防本部貸出の是非 ⑤ 「第8節 追跡調査」 ・ リスト化した者の事故後の取扱(主体はどこか) ・ 事故後の空調等の除染主体の確認 ・ 自衛隊連携内容の確認 ・ 被災者情報用紙とリアージタッグの関係
第6章	各関係機関との連携	○ 各関係機関との連携内容を精査 ・ 関係機関への連携・依頼事項を具体的に記述 ・ 医療機関の対応、要請内容の整理
第3編 生物テロ災害天然痘の発症者(疑い含む。)の対処		
第1章	天然痘	
第2章	天然痘の発症者への対応	
第3章	天然痘への防護	○ 「第2節 化学テロ災害に伴う部隊編成の考え方(例)」について、災害態様・規模別に標準的な部隊編成、資機材数を設定
第4章	消防指令室の体制	○ 連絡先の確認
第5章	天然痘患者の搬送(移送)に伴う消防活動	○ 現場の除染 ⇒ 協力を求められた場合の対応確認
NK(原子力)災害		
		① 原子力(発電所等)施設 ② 研究施設等 ③ 放射線物質輸送中事故 ④ Nテロ災害
N分科会の検討結果を受けて整理		
第4編 生物・化学テロ災害時の除染活動		
第1章	生物・化学テロ災害時の除染フローチャート	
第2章	曝露者の除染	

第3章	使用資機材・活動隊員等の除染	※○ オゾン除染方法の追加
第4章	専用の資機材のない場合の除染	
第5章	合理的な除染活動の流れ	
	N災害発生時の除染活動	N災害分科会の検討結果を受けて整理
第5編 生物・化学テロ災害時における消防機関の活動確認帳		
	化学テロ災害時の確認事項	
	生物テロ災害(建物内で粉等の確認)時の確認事項	
	生物テロ災害(天然痘テロ発症者の対処)	
	N災害時の確認事項	
	テロ以外の災害時の確認事項	